

戦前の町並みが残る奈良井宿で撮影する千代子役の井上さん（中央）とスタッフ＝13日、長野県塩尻市



# 映画「伊藤千代子の生涯」

## 故郷・長野で撮影始まる

### 自立し生きる 姿を伝えたい

「命のあるものはみんなあらん限りに生きようとしている」「（獄中最後の手紙）から」。戦前、治安維持法下で特高警察によって拷問、虐待、投獄され、24歳の若さで命を奪われた日本共産党員の女性活動家、伊藤千代子（1905～29年、長野県諏訪市生まれ）の生涯が映画になります。

題名は「わが青春つぎるともー伊藤千代子の生涯」（桂壮三郎監督）。5日に東京都内で撮影開始を記念する集会が開かれ、11日の長野県松本市ロケなど撮影を進めています。

物語は千代子の生い立ちから最愛の夫・浅野晃との出会い、獄中での最期までを描写。

千代子が最愛の夫に裏切られ、転向を迫られる中、自立した女性へと立ち上がり、不屈にたたかう姿を描きます。

13日の塩尻市ロケには、原作の増補新版

『時代の証言者 伊藤千代子』（学習の友社）の著者、藤田廣登さんも同行。戦前の町並みが残る奈良井宿（ならいじゅく）で、千代子役の井上百合子さんが街道を歩くシーンを見守り「自立し、生き抜く千代子の生き方を若者に伝えたい」と語りました。

他の出演者は竹下景子さん、嵐圭史さんら。来年6月公開予定です。長野県内では8地区全域で同映画の製作上映実行委員会などが結成され、支援が広がっています。